

第56回錯体化学討論会 シンポジウム

元素相乗型錯体の創製とその機能

責任者：京都大学化学研究所 岡崎雅明

日時：9月16日（土） 16:35~19:35

場所：広島大学東千田キャンパス（広島市）

会場：Ac

趣旨書

元素の特性はその最外殻電子の状態が反映され、その集合体が分子を形づくる。近年、様々な合成手法の進展により、原子レベルで自在に制御された分子性化合物が合成されるに至っている。この化合物群は構成元素の特性のみでは説明がつかない興味深い機能を発現することが明らかとなり、元素間の相互作用つまり元素相乗効果の解明が必要不可欠となっている。本シンポジウムでは、主に遷移元素を含む元素相乗型化合物群を研究対象とする第一線の研究者にご講演いただき、活発な討論を行う。また、機能発現の源泉となる元素間相乗効果のメカニズムに関して集中的に議論を展開し、最後に総括する。

プログラム

16:35-16:40 趣旨説明 京大化研 岡崎雅明

座長 岡崎雅明（京大化研）

16:40-17:15 宮浦憲夫（北大院工）

炭素-ホウ素、炭素-ケイ素結合形成における相乗系イリジウム錯体

座長 飛田博実（東北大院理）

17:15-17:50 中沢 浩（阪市大院理）

遷移金属シリル錯体が示す触媒能—シリルパワーの威力とは—

17:50-18:25 上野圭司（群大工）

ガリウム—遷移金属相乗型錯体の合成と性質

座長 小澤文幸（京大化研）

18:25-19:00 ○坪山 明, 上野和則（キヤノン（株）コアテクノロジー開発本部）

りん光性イリジウム錯体

19:00-19:35 関口 章（筑波大院数理）

二中心元素相乗系化合物：ケイ素-ケイ素三重結合化合物ジシリンの合成と反応性